

# 金城大学短大だより

No.52

平成24年6月20日発行 金城大学短期大学部 白山市笠間町1200番地〒924-8511 Tel.076(276)4411  
URL:<http://www.kinjo.ac.jp/> E-mail:[tandai@kinjo.ac.jp](mailto:tandai@kinjo.ac.jp)

## 平成24年度 体育祭



5月11日、肌寒い曇り空でしたが、競技はすべて予定通り行われました。今年は、当初体育委員で企画・準備を進め、途中から新しく結成された学友会が加わり、体育祭実行委



員会として体育祭を運営しました。アリーナで行われた開会式では、学友会新メンバーが紹介され、選手宣誓で学友会の男子学生二人が堂々と誓いを述べました。競技進行では準備不足の面もありましたが、勝負に挑む学生のハツラツとした熱意と円陣を組むクラスの団結力が会場の雰囲気盛り上げ、応援に駆けつけた担任との一体感も合わせて、終始白熱した競技が展開されました。昨年からは男子学生の競技にも力強さが発揮され、大いに盛り上がりました。総合成績は、優勝幼児教育1C、2位幼児教育1B、3位幼児教育1Dでした。

## 平成24年度 入学式



平成24年度入学式が4月3日(火)、白山市松任文化会館でご来賓と保護者を迎えて挙行されました。美術学科75名、幼児教育学科161名、ビジネス実務学科138名、専攻科福祉専攻27名、留学生別科6名、美術学科研究生8名の合計415名が学生生活への期待に胸を躍らせました。

中山治男学長は、式辞にて各学科の特長や取り組みに触れられました。幼児教育学科は「特化教育」と保育現場の連携、美術学科は「オーディション制度」など社会に通用する作品への取り組み、ビジネス実務学科は「産学連携の就業力支援プロジェクト」の実施と高い就職率です。そして「時には迷うことがあったとしても、知恵を絞り直観力さえも動員して判断し、歩み続けてみましょう。」と述べられました。

それに応え、新入生代表、ビジネス実務学科の多田 麻有香さんが「これから始まる学生生活において、時には笑い、時には泣き、



楽しい時も苦しい時もあるかと思いますが、これまで支えてくれた家族、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、実りある学生生活を送りたいと思います。そして、金城大学短期大学の学生である誇りと自信を持って、それぞれの夢の実現に向けて勉強に励み努力することを誓います。」と力強く宣誓しました。引き続き、新入生への歓迎、激励をこめた、金城大学短期大学の校歌が披露されました。

昼食を挟み、午後からは本学にて新入生・保護者を対象とした「新入生・保護者説明会」を実施しました。会場を新入生(合同)と保護者(学科別)に分け、強風の吹く悪天候にも関わらず大勢の保護者にご参加いただきました。

## 平成23年度 卒業式



平成23年度(第35回)卒業証書・学位記授与式が3月16日(金)白山市松任文化会館にて挙行されました。大勢の来賓、保護者の祝福の中、美術学科71名、幼児教育学科161名、ビジネス実務学科113名、専攻科福祉専攻27名、美術学



科研究生6名、留学生別科3名、総計381名が学窓を巣立ちました。式の終わりを締めくくって在校生代表美術学科1Aの小杉麗子さんが送辞を述べると、卒業生代表として幼児教育学科の小田美穂さんが2年間の思いを語り、『幼児教育を学ぶ中で、先生から、「いま、ここ」ということばを戴きました。いまこの一瞬を大切に生きること、そして、いまここを最もよく生きること。そのことを胸に、傍らにいる人々を大切にして保育に邁進していきたいと思います。』と誓い、式典は厳かに終了しました。

式典終了後、クラス毎に控室へと場所を移し、担任が一人ひとりの名前を呼び、それぞれ言い尽くせない思いを「おめでとう」という一言に込めて、卒業証書を手渡しました。

# 新任学科長紹介



## ビジネス実務学科 岡野 絹枝

ビジネス実務学科長を拝命しました岡野絹枝と申します。新任のご挨拶を申し上げます。

ビジネス実務学科は、本格的なキャリア教育に取り組んでから9年目となりました。

その間、平成16年度には、文部科学省「特色教育支援事業」で『キャンパス内におけるキャリア教育』が北陸の短大で初めて採択され、平成22年の「就業力育成支援事業」でも、同じく北陸の短大として唯一採択されました。

一歩先行く本学キャリア教育の取組は、『就業力育成バージョンアップ・プロジェクト』です。これらの支援事業にプロジェクトリーダーとして8年間携わり、就職進学指導部長も務めてまいりました。現場で、学生たちと泣いたり笑ったりしてきたキャリアが財産です。そして、もう一つの財産は、素直な学生たちと教育マインドあふれる共に働く仲間恵まれていることです。

中山学長のリーダーシップの下、他学科長の方々とも協力し合い、金城短大のより良い教育に微力を尽くしたいと存じます。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。



## 幼児教育学科 新入生合宿研修



4月5日(木)・6日(金)、国立能登青少年交流の家で合宿研修が行われ、1年生162名(全員)、2年生リーダー30名が参加しました。入学当初のガイダンスを兼ねた研修で、学科の教育方針や保育者としての心得、修学姿勢への早期理解とクラスの交流・親睦を目的に、「身体表現」「美術共同制作」「2年生との交流ミーティング」「クラスミーティング」「学びについての講義」などを行いました。2年生リーダーは、バス車内で保育者としての夢や親睦が広がるよう元気な手遊びや自己紹介から始め、すべての研修サポートに献身的に協力しました。1年生の安堵感と希望の表情を伺わせた有意義な研修となりました。



## ビジネス実務学科 新入生合宿研修

4月15日、16日の2日間、ビジネス実務学科1年生の「新入生合宿研修」が行なわれました。参加者は全1年生・2年生リーダー17名、先生方11名でした。今年度で8回目となる新入生合宿研修ですが、「ビジネス実務における自己表現と基本マナーを身につける」「友達ネットワークワーキング」をテーマとし、学科長の講話にはじまり、キャリアデザイン総論、レクリエーションやウォークラリー／野外散策などの研修、最後には野外炊飯を行いました。今年の1年生は大変元気がよく、各活動で「参加してよかった。」「友達が増えてよかった。」という声が聞かれました。



## 第7回 地域子育て支援フォーラム 報告

県内保育関係者約180名と学内関係者約150名の参加があり、会場は熱気に包まれました。前半の研究交流では、遊び発展型の保育を目指す県内2園の事例から、保育者の豊かな発想や熱心な学びの姿勢に興味関心が注がれました。後半の対談では、有馬氏の実践の深さ、それを理論づける樋口氏の子ども観が、保育者や学生によく伝わり意義深いものとなりました。アンケートからは、学びのあるフォーラムであったとの感想を多くいただきました。



## 既卒者・現場保育者「リカレント教育」

### 幼児教育学科

短大だより51号で、「リカレント教育」～9人の受講生澁刺～という記事を掲載させて頂き、熱意ある学びを展開しておられることを紹介しました。リカレント生は、その学びの成果を研究としてまとめ、1月26日、特化受講生に向けて発表して下さいました。(下欄にテーマを一覧しました) 豊かな経験をバックボーンにレベルの高い研究が並び、本学学

生は大きな刺激を受けたようです。また、当日は、石川県少子化対策監室をはじめ学外からも多数ご参加頂き、新規事業へのご理解が頂けました。

本年度は、本学卒業生が多く受講生として名を連ねて下さり、7名の皆さんを受け入れて、5月にスタートしました。

	研究テーマ	
乳児保育	①「乳児の読み聞かせと親のゆとり感の関連について」 ②「親子の育ちを支えるために～ひろばスタッフとしての役割を考える～」	(宮川美智代) (丹保 睦子)
障害者保育	①「共に生きるお手伝いを」 ②「フシギ君の持つ世界を見つめて～大切なこれからのために～」 ③「学童保育の現場で思うこと」	(荒木田真紀子) (松山 純子) (加藤小百合)
音楽	①「弾き歌いへの取り組み」 ～レッスンから新たに学んだ楽曲の理解と解釈～	(新出 知子)
美術	①「レジヨ・エミリアの『3つのD』からの学び～気づき、高め合う関係を願って～」 ②「特化美術と保育現場との往還～発見から、発見へ～」	(宇野 典子) (番匠 美奈)

## 平成23年度 地域連携促進事業成果発表会

平成24年3月10日(土)、幼児教育学科三浦ゼミが、地域連携促進事業「白山市山間部における世代間交流事業」について成果発表会を開きました。会には、事業に協力していただいた白山市役所やNPO法人おやこの広場あさがおのスタッフに加え、事業による様々な活動に参加してきた白山市の親子も参加されました。学生が

中心となって一年間の活動についての報告、アンケート結果の発表、改善点の検討などを行いました。23年度の活動成果と反省を24年度の活動に活かしていきたいと思えます。



## 平成24年度地域連携促進事業 「白山市山間部における世代間交流事業」はじめ湯祭り

平成24年5月12日(土)、幼児教育学科三浦ゼミが、平成24年度地域連携促進事業「白山市山間部における世代間交流事業」として、白山市中宮温泉で行われたはじめ湯祭りに参加しました。NPO法人おやこの広場あさがおを利用する親子を中心に約60名で会場を訪問しました。15名の学生がそれぞれ担当の親子を補助しながら、山間部の自然や特産物を楽しみました。



## 幼児教育学科 国内研修旅行



昨年度に引き続いて、1年生2年生計17名が3月11日から2泊3日で静岡・山梨への国内研修に出かけまし

た。これは、幼児教育学科が平成20年度から、文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)に選定され教育活動を展開してきた中で交流のある東海大学短期大学部児童教育学科(静岡市)の学生との相互交流を目的とするものです。初日、富士山の眺めで有名な

三保の松原に出かけた後、2日目から東海大学短期大学部を訪問し、「あかちゃん広場」と遠隔操作での授業を体験しました。その後、東海大学山中湖セミナーハウスに移動し、主に実習を核とした両校の学びについてグループ討議を重ね、発表する形式を取りました。学生は自らの体験と他校の学生の体験を重ね合わせ今後の「保育」の学びにつながる方向性を見つけることができました。特に2年生が1年生をリードしてより深い学びとなりました。なお、東海短大とは、今後も交流を重ねるよう計画中です。



## 第33回 Waku Waku World

平成24年1月21日(土)本学恒例の金城大学短期大学部定期演奏会“Waku Waku World”が金沢市文化ホールで開催されました。幼児教育学科2年生全員出演のイングリッシュソ



グステージ、クラス毎の音楽表現ステージ、特化音楽履修学生と西南幼稚園児との合同ステージ、操演部による着ぐるみステージ、特化音楽学生によるマーチングステージ、ダンス部ステージと、日頃の活動、授業の成果をいかに発表しました。観客からは温かい声援もいただき、「若いパワーは素晴らしい。

こちら大変元気をいただきました。」とお褒めの言葉も数多くいただきました。この日のために学生達は皆で練習、準備に励み、「金城で学んでよかった!!」と改めて友情を確かめ合い、感動いっぱいの一夜となりました。



## 第11回ファッションショー Kinjo Art Show Case

今回で11回を数える美術学科ファッションコースによるファッションショーが3月2日、金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにお



いて開催されました。

ファッション専攻学生5名と染色専攻4名の計9名、約50点の作品発表を行いました。

モノトーンを基調としたクールな作品や、水を

テーマとして生地を自分で染めた作品、着付けにアレンジを施した浴衣などバラエティーにとんだ作品が披露されました。

またダンス部のパフォーマンスや、学生の制作による映像が舞台を盛り上げました。



## 金城学園白山美術館行事予定

- 平成23年度第35回卒業制作展選抜展  
4月26日(木)～5月28日(月) 火曜日休館
- 「藤を描く」展 (6月予定)
- 白山日創展&新院展作品展  
9月8日(土)～9月17日(月・祝)  
最終日14時まで 会期中無休

- アカデミア金城2012展+研究生展  
10月11日(木)～29日(月) 火曜日休館
- 地域美術演習成果発表展  
11月8日(木)～26日(月) 火曜日休館

## 初対面でもみんな仲良く (ビジネス実務学科「第2回入学前セミナー」)

入学直前の3月30日。平成24年度ビジネス実務学科入学者を対象に、「第2回入学前セミナー」を行いました。昨年度は、12月までの合格・入学手続き者に対して実施しましたが、今年度からは、それをさらに発展する形で、昨年度のセミナーを第1回とし、今回、第2回を開催することになりました。

目的は、入学前に多くの仲間とふれあうことで友達作りを後押しすることと、入学後にスムーズに学生生活に溶け込むことができるように本学に慣れてもらうことです。

プログラムは、入学後のクラス単位で行われ、クラス担任予定の教員がファシリテーターを務めました。

まず自分自身のパーソナリティ（人柄・特性）をさまざまな角度から自己認識しながら、同じ特性を持った人同士のグループで話し合いました。それを繰り返すうちに、だんだんとクラスの雰囲気も和やかに。その後は、1対1でさらにお互いのことを、趣味、出身地、

好きな芸能人などなど深く聞き合いました。後半には、今までで一番大事な人のことや、幸福に感じることなどかなりプライベートな内容も選択。それらの話し合いの後に、グループワークでそれぞれが気付いたことなどを話し合い、お互いの考えを全体で分かち合うことで学生同士の理解が大いに深まったと思います。

クラスメンバーはほとんど初対面ですので、最初はとまどいを見せる学生も見受けられましたが、スケジュールが進むにつれ教室内には笑顔があふれ、途中からは全クラスの賑やかな話し声や笑い声が廊下に響きわたるほどでした。

今回のセミナーは初めての試みでしたが、大きな成果が得られたと思います。今後はこの経験を元に、一人ひとりの学生が充実した学生生活を送れるように本学もしっかりとサポートしていきたいと考えています。

## 学生プレゼンテーション・コンテスト

ビジネス実務学科恒例の「日本ビジネス実務学会中部ブロック研究会」が、去る1月7日(土)・8日(日)の2日間、岡崎女子短期大学で開催され、中部地区から8名の学生が発表しました。発表ではパワーポイントを使い、5分間で自分の意見をまとめます。表現力・説得力・さわやかな印象などが評価基準となります。本学からは2名、木藤芽衣さん、北本茜さん(現2年生)が出場しました。結果は、最優秀賞1名・優秀賞2名の内、優秀賞は2名とも本学の

学生が見事に受賞しました(最優秀賞は四年制大学生)。



# 美術学科卒業制作展

平成23年度卒業制作展が平成24年2月8日(水)～12日(日)まで金沢21世紀美術館で開催されました。次回24年度制作展も同美術館で開催予定です。



堂山 莉奈  
「夢…」



東田奈津希  
「どうぶつのふしぎ」



坂 朋美  
「はちべい」



小松 知見  
「Starlight Soldier」



生田 紗貴  
「井の中プラズマ」



川上 光  
「目覚めたなら」



中谷 花穂  
「くもいのち」



木村 恵理  
「白の物語」

## 第35回卒業制作展受賞者

### 学長賞

油画・日本画 堂山 莉奈「夢…」

### 優秀賞

デザイン・映像 坂 朋美「はちべい」  
東田奈津希「どうぶつのふしぎ」  
ファッション・工芸 中谷 花穂「くもいのち」  
マンガ・キャラクター 木村 恵理「白の物語」  
小松 知見「Starlight Soldier」  
油画・日本画 川上 光「目覚めたなら」

### 努力賞

デザイン・映像 高橋 芽「プリンターズ・フラワー」  
針木 結花「LADY READY」  
田中 希望「モンスター」  
ファッション・工芸コース 楓花「追憶」  
マンガ・キャラクター 岩住日香里「ハンドショッピング」  
神田 静香「星座☆学園」  
油画・日本画 荒木 柚香「たてるか？」

### 研究生特別賞

マンガ・キャラクター 生田 紗貴「井の中プラズマ」

## 大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>

テレメール/資料請求受付(24時間)

●音声ガイダンスに従って資料番号を入力して下さい。

IP電話 050-8601-0101

●資料請求番号 160793 2～3日程で資料が届きます。

※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡下さい。

金城大学短期大学部同窓会

<http://www.kinjo-dosokai.jp/>



KINJO

## 編集後記

今号より編集担当者が変わりました。これを機に、ややマンネリの感もあった短大だよりの紙面刷新を考えています。皆様の忌憚ないご意見やアイデアをお寄せ頂ければ幸いです。

(若葉マーク)